「森の国ぽっぽ温泉」

特集4

松野町

森の国ぽっぽ温泉
支配人
森口　泰

森の国松野町

愛媛県の松野町は、国立公園滑床（なめとこ）渓谷に代表されるように、「日本最後の清流」四万十川源流域の豊かな森と、美しい川に恵まれており、「森の国」と呼ばれています。さらには、日本の農村の原風景といえる歴史的文化的景観も、人々の暮らしとともに残され、どこか懐かしい日本の里山の景色が味わえます。

列車を降りると、そこは温泉だった

各駅停車の個性的な観光列車「日本一遅い新幹線!?」が、ゆっくりとホームに入ります。ここは、愛媛県宇和島市と高知県窪川町を結ぶJR四国予土線の松丸駅。温泉施設は、全国でもめずらしい駅舎の2階にある「森の国ぽっぽ温泉」です。温泉で身体が温まることと、汽車が走るほのぼのとした風景を重ね合わせたことから「ぽっぽ温泉」と名付けられました。

森の国ぽっぽ温泉には、福祉、交流、温浴の機能が備えられ、デイケア等を行う福祉センター、各種情報の受発信の拠点となるギャラリーなどが併設されるなど地域町民のふれあい交流と福祉に焦点をあてた温泉施設です。

駅裏側

明治の露天

エコな温泉へリニューアル

ぽっぽ温泉に使用されている源泉は、25℃以下の冷鉱泉。こちらの施設では、薪でお湯を沸かしています。

薪ボイラーに使われる薪は、森の国松野町内の山林の豊富な間伐材。間伐材は、林業関係団体等で組織する「森の国まきステーション」で

薪ボイラー

滑床の露天

薪に加工されます。間伐材の買取価格の半額を、地元店舗の商品券で支払うという地域循環システムが構築され、森林資源を有効活用することで林業振興や林家への所得還元を進め、地域の活性化を図るとともに、ぽっぽ温泉では、灯油などの燃料費の削減と地球環境にやさしいまちづくりを進めています。薪を貯蔵している施設のまわりは、ほんのり木のいい香り。なんだか和みます。

小さなロビーの小さな音楽会「ぽっぽ音楽会♪」

「ぽっぽ音楽会♪」は、ぽっぽ温泉のロビーを活用して、お客さんへ気軽に音楽にふれてもらう場、出演者へは日頃の練習の成果を発表する場を提供したいと考えスタートさせました。もともと松野町には「ぽっぽ音楽祭」という大きなイベントがあり、これを真似てお客さんと地域住民の交流ができないかと考えたことがきっかけでした。

地域の方が三味線や尺八などの教室に通って練習していることを知っていたので、発表したい方が演奏してくれるかなと思っていたのですが、演奏したいという方は出てこなかったのです。そんな時遠く離れた北海道の方から連絡がありました。その方はシンガーソングライターをしており、以前ぽっぽ温泉に訪れたことがある方で、Facebookで音楽会のことを知り、ぜひぽっぽ温泉に来て演奏したいという話でした。当日は演奏者とお客さんの距離が近いということもあり、温かい雰囲気で音楽会を行うことができました。演奏者からもお客さんからも好評で、2回目の音楽会でも、同じ方から演奏の応募があり、和やかに音楽会を開催することができました。ぽっぽ温泉を気に入っていただいて、このように足を運んでくれることはぽっぽ温泉で働くスタッフ、また地域住民の励みになります。

高校寄せ書きコーナー

ぽっぽ温泉ロビーには「高校寄せ書きコーナー」があります。東京都にある居酒屋が「高校寄せ書きコーナー」を作ったところお客さんから好評だったという事をテレビで知り、うちもやってみようと4年前に設置しました。県内の各高校のノートをつくり、出身高校のノートへ自由に記入できるようにしております。松野町での観光や体験をしたこと、近況報告など様々な年代の方々が記入しています。友達同士でお互いの卒業高校のノートを見せ合ったりするなど、同級生同士だけでなく学校や卒業年次を越えた交流をしております。

高校よせがきコーナー

これからについて

ぽっぽ温泉は、松野町へ訪れたお客さんに、松野町の自然などを堪能してもらい、「ぽっぽ温泉もいいところだから寄っていこう」と思われるような施設でありたいと考えております。温泉と列車の駅が一つの建物という全国的にも珍しい特性を生かして、町外の方と地域住民が交流するような場を提供していきたいと考えております。そしてぽっぽ温泉だけでなく松野町を好きになってもらい何度も足を運んでいただけたらと思います。地域全体、松野町全体が元気になるような、そういった活動や仕掛けを今後もしていきたいと思います。

足湯